

補習校だより

2018年2月21日発行



ちかごろ日照時間も延びてきて、寒さもだいぶ緩んできました。イラン暦 1396 年もあと 1 か月で終わり、「エイデーノールズ」(イランの新年、日本では春分の日)も間近です。これからイラン全体が大掃除や新年を迎えるための買い出しなどで忙しくなり、街にもぎわいます。補習校も 3 週間後には春休みに入ります。

今月(エスファンド月)の予定

- 第 16 回目授業 2 月 22 日(木) 短縮授業 茶道教室 下校時間 1 時
- 第 17 回目授業 3 月 1 日(木) 短縮授業 お別れ会 春休みの宿題配布予定
下校時間 12 時半
- 第 18 回目授業 3 月 8 日(木) 通常授業 年内最終授業日

※3 月 9 日～4 月 4 日まで春休み(ノウルーズ休み)に入るので、第 19 回授業は 4 月 5 日(木)になります。



《行事報告》

染紙体験と作品作り

今年度より日本語補習校へボランティアでいらっしゃっている日本人学校の皿谷先生のご指導で染紙体験と作品作りをしました。子供たちそれぞれが自由に染めた世界に一つしかない模様の紙を使って、A4サイズの封筒としおりを先生が作って下さり、染紙を使った手帳の作り方も教えて下さいました。

自分達で作った自分専用の文房具！補習校や学校の勉強も楽しくなりそうですね。これまでも皿谷先生には授業の合間に楽しい工作を教えていただきました。どうもありがとうございました。



《作品介绍》

2・4年生クラス



『お手紙』より 初めてお手紙をもらった、がまがえるくん。今度はがまがえるくんになったつもりで心のこもった返事を書いてみました。

2年 小林紗也
いいお手紙だったね。

あとどうしてかたつむりくんにたのんだの。

ありがとう。

あしたいっしょにあそぼう、あといっしょにうちゅうにいこう～～。

お手紙かいてね。

2年 小林駿主

かえるくんへ

かえるくん、ぼくはすごくうれしいです。だってはじめてお手紙の返事をするんだから。

かえるくん ぼくはともしあわせです。なぜなら ぼくはかえるくんの親友だから。

こんどからもっとおてがみではなそうね。お手紙まってるからね。

日記

『雪の日』 4年 三星愛奈

こんやは雪がふりだしました。すごく楽しみです。明日がお休みなんてゆめのようです。

次の朝、お母さんとお父さんが「雪がたくさんつもっているからおきてね。」といました。私がきがえていたらお父さんもきがえはじめました。おく上にいって、遊びました。でも、そのあとお父さんが雪かきをして雪たちをかたづけました。私はすごくかなしかったです。

3年生クラス



『ちいちゃんのかげおくり』より

「ちいちゃんのかげおくりを読む」

サファリ明日漢

日漢

ぼくはちいちゃんのかげおくりを読んで、はじめて日本のせんそうのことを知りました。ちいちゃんのような小さい子までしんでしまうなんて、とてもひどいと思いました。

どうしたらせんそうがなくなるのかは、とてもむずかしい問題です。

でももしみんなが、相手の悪いことを言わずに、見ないようにすれば、せんそうは少なくなると思います。

「せんそうがなくなるにはどうしたらいいか？」 アナヒタ

わたしは、せんそうがなくなるには、国と国がなかよくなり、色いろなものをいっしょに分ければせんそうにならないと思います。

せんそうは、小さなけんかだと思います。みんなも家でけんかをしていると思います。けんかがなくなるには、人の意見も聞き、自分の意見も話したらけんかには、ならないです。せんそうがなくなるには、国と国が相手の話を聞くしせいをもつことがだいじです。

「『ちいちゃんのかげおくり』を読んで」 榊原世怜奈

わたしは、「ちいちゃんのかげおくり」を読んで、せんそうなんてなかったらよかったのになあと思いました。

そして、暗いぼうくうごうの中で、何日も一人ぼっちでねむって、十二才のわたしでも、考えるだけでこわいののに、ちいちゃんは小さくても、強くてすごいなあと思いました。

せんそうがなくなるにはどうしたらいいのか、自分なりに考えてみました。

「せんそうをすると、おたがいかなしいことやつらいことばかりで何もいい事なんかない。」ということ、世かい中のみんな一人一人が、いつも心にとめておけば、いいのではないかと思いました。 おわり

読書感想文



エルマーシリーズを読んで

補習校の図書コーナーにある本です。みなさんも読んでみませんか？

「16ぴきのりゅう」

福嶋ティナ

この話で感じたことは、エルマーとりゅうのせがほぼいっしょなんてびっくりしました。わたしはエルマーはきっといいおとなになると感じました。りゅう(ボリス)は、どうして自分でかいけつしないのと感じました。わたしはエルマーのお母さんはどうしてなにもエルマーに言わないのかと感じました。

「本のしょうかい」

原えりか

エルマーのぼうけんをしょうかいします。作者は、ルース・スタイス・ガネットさんです。教科書にのっていて、すずき先生からかりました。見てほしい所は、さいしょのページの地図です。

この地図でものがたりの場所が分かります。エルマーがみかん島とどうぶつ島をぼうけんして、いろいろなこわいどうぶつたちとであいます。どうぶつたちは、エルマーを食べようとしますが、エルマーはいつも頭をつかってにげます。りゅうをたすけることが、もくてきです。

エルマーはゆう気があってすごかったと思います。

さいごにりゅうのせなかに乗ってどうぶつ島をにげだします。つづきをまた読んでみたくなりました。みんなも読んでみてください。



5・6 年生クラス

5 年生は西暦の新年に「今年がんばりたいこと」について作文を書きました。

5 年 奥山ティナ

わたしが今年がんばりたい事は、勉強をがんばる事です。

なぜなら勉強をがんばって、携帯を買ってもらいたいからです。

そのために、テストでいい点数を取りたいです。先生には、いつも注意がたりないと言われるので、テストの時は、ちゃんと問題をよく読んで注意しなければいけないと思います。

わたしがにがてなのは、算数と理科です。毎日がんばって練習します。日本語もちゃんとがんばって勉強しようと思います。

5 年 鈴木愛良瑠

わたしは、今年勉強をがんばりたいです。勉強をがんばるためには、ときどき夜おそくまで起きていないといけません。そしてすきなドラマがみられなくなるし、またすきなマンガが読めなくなります。でも、それらをがまんして、その時間を勉強して、よい大学に行き、よい仕事をして、しょうらいは、楽になります。

よい仕事について、よい給料をもらって、日本に行く飛行機代にしたいです。

5 年 福嶋みな

今年、私の学年から「キャンブリッチ」と言うシステムの試験を受けなければならなくなりました。その試験では、去年習った所からも出てきます。なので、私はその試験のためにがんばって勉強し、暗記ではなく、きちんと意味をしり、いい点数をとりたいです。それから、勉強だけではなく、学校でもきちんと授業の内容を聞くようにがんばりたいです。

それから今年、いろいろな人と話し、たくさん新しい友達を作りたいです。

5 年 鈴木嵐

ぼくは、今年もサッカーをがんばりたいです。ぼくは、サッカーが大好きです。ぼくにとってサッカーはすごく大切なスポーツです。

ぼくは、しょうらい、すごく有名なサッカー選手になる夢があります。できるだけ、その夢にちかづくために、今年はいあいでボールのコントロールをよくしたいです。ボールのコントロールをよくするためには、できるだけ家でも、ドリブルのれんしゅうやリフティングのれんしゅうをがんばりたいです。

中学部

「注文の多い料理店を読んで」 鈴木沙奈

私は、二人の紳士のように最初は、お客さんの注文が多い料理店だと思っていました。でも紙をきちんとしたり、めがねをはずしたり、普通必要ではない事を求めているので、とてもおかしいと思いました。

クリームを顔や手に塗ってとお願いされた時、注文の多い料理店の意味がわかりました。なのに紳士たちは、ひびがきれないための予防だと思ったことにととてもおどろきました。

酢の匂いの香水をつけたり、塩をつけたりクリームつけたら、ぜったい美味しくなくなるとおもいました。この二人を食べようとしていた人とはぜったい食べ物の趣味が合わないと思いました。

最後の「紙くずのようになった二人の顔は東京に帰っても、お湯に入っても、もとどおりになりませんでした」の意味がわかりませんでした。

「注文の多い料理店を読んで」 田中咲良

以前から注文の多い料理店をみたいと思っていました。

二人の紳士の顔が紙くずのようになって、もとのとおりにおらなかったところが、印象に残っています。

この本に出てくる紳士たちは、あまり良い人ではないように感じました。二匹の犬が死んでも全然悲しみませんでした。動物を大切にしていまませんでした。お金のことだけしか頭にないようでした。

それで紙くずのようになった顔がなおらなくなってしまったのではないかと考えました。でも最後には、その死んだはずの白熊のような二匹の犬が、紳士たちを助けてくれました。見た目は白熊でこわそうなのに、心はやさしい犬でした。

編集後記

私事ですがパソコンの編集ソフトが壊れてしまい、慣れないオンラインでの編集作業です。いつもと違う事をするのは頭を使います…日々勉強だと改めて感じました。子どもたちの作文も、今年度の始めより文章が長く、レベルが上がっていて編集がたいへんになってきていましたが、これは嬉しいことです！エイデが明ければ授業回数もわずかになります。修了式の発表まであと一息、どうぞよろしくお願いいたします。